

奄美の伝統・文化を世界に発信

話題

ナショナルジオグラフィック誌

取材記者が来島、11月掲載予定

世界の自然、地理、歴史を扱う雑誌ナショナルジオグラフィック誌は、奄美を含む日本の島々の特集を組むことになり、記者のデコート豊崎アリサさん(38)がこのほど、奄美のため来島した。写真家・山中順子さん(38)と共に、島の伝統文化、人を取りました。

特集では日本のさまざまなアイデンティティーを紹介。長崎の軍艦島、北海道の知床、奄美を取り上げる。奄美は「スピリチュアルの島」として、人や文化、精神世界を記

事にする予定。デコートさんの要望で、10年来奄美を撮り続けている山中さんが写真を担当することになった。

2人は滞在中、奄美のシャーマニズムを取材。奄美市名瀬のユタ神・阿世知照信さん(81)を訪ね、人々と神のかかわり

2人はこのほかにも奄美各地を取材。山中さんは「自分にとって奄美は心の中の守り神のようなもの。自然と共に生きる島の人々の姿を、特集の中でも紹介したい」と話した。

同誌の特集「日本の島々」は11月掲載予定。



阿世知さん(左)を取材するデコートさん(右)と山中さん(中央)=奄美市名瀬

について話を聞いた。阿世知さんは、自然を神とし、太陽や月、水などを宿する、島の古くからの考え方を説明した。